

古井の川通信

思いやる子 考える子 がんばる子

学校便り

7月

出部小学校
7月19日発行



本当に早いもので、もうすぐ夏休みです。357人の出部小学校の子どもたちが全員元気に1学期を終えることができることを大変うれしく思います。この間、保護者や関係者の皆様には深い御理解と御協力をいただき、心から感謝いたします。夏休みは子どもたちにとって、野山や川、海などの自然に親しむことにより、それらの自然の中で心身を鍛えるのに絶好の機会かと思えます。また、日常の学校生活では得ることが難しい体験をさせることにも、大きな意義があると考えます。しかし、子どもたちが学校を離れ、長期間の休みになりますと、一番心配されることが油断や生活習慣の乱れから起こる事故・病気です。学校では、全児童が無事故で病気のない楽しい夏休みにし、有意義に過ごすことができますように、全職員が協力して指導を進めてきました。御家庭や地域においても、子どもたちが安全で楽しい夏休みになりますよう、御配慮の方よろしく願いいたします。

非認知能力

最近「非認知能力」といった新しい概念を聞くことが増えてきました。非認知能力というのは、IQ や学力テストの結果（認知能力）のように数値には表すことのできない能力のことで、例えば、「自制心」「やり抜く力」などのことです。

学習指導要領において、これからの時代を生きる子どもたちに必要な力の一つとして「**学びに向かう力・人間性等**」が掲げられていますが、この力はまさに非認知能力に該当しています。

井原市内の学校では、「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」の中で、保・幼・小・中・高等学校の共通実践として、「いばら愛」「やり抜く力」「まき込む力」を身に付け、「井原**“志”民力**」を高めながら「非認知能力の育成」に取り組んでいます。

出部小では、「出部魂」

非認知能力は、**出部魂の7つの心（挑戦、努力、やり抜く、思いやり、礼儀、感謝、協力）**と通じるところが大きいと実感しています。出部魂は、非認知能力を育成するための大切な要素をまとめているものであり、出部小学校では、今までも大切にしています。

○いばら愛⇒思いやり、感謝、協力 等

○やり抜く力⇒挑戦、努力、やり抜く 等

○まき込む力⇒協力、感謝、礼儀 等

出部小の子どもたちにも、ご家庭や地域の方と協力して、出部魂を合言葉に「**学力**」と共に、「**非認知能力**」を育てていきたいと思えます。



5年生 夢の教室！

6月29日（木）に5年生の「夢の教室」がありました。元フットサル選手の河原優さんに「夢をもつことの大切さ」や「諦めない気持ちの大切さ」について、語っていただきました。今年度は数年ぶりに対面で交流することができ、子どもたちにとっては大変貴重な時間になりました。

今回の経験をきっかけにして、様々なことに挑戦してほしいと願います。



交通安全教室

6月1日（木）は3～6年生を対象に交通安全教室を行いました。自転車シュミレーターを使って、正しい自転車の乗り方を学習しました。また、6月6日（火）に1～2年生は体育館で「正しい横断歩道の歩き方」について練習しました。

夏休みが始まりますので、ご家庭でも自転車の整備や安全な乗り方・横断歩道の渡り方などについて話題にしてみてください。



修学旅行

6月29日（木）・30日（金）に神戸・奈良・京都方面に修学旅行に行きました。新型コロナウイルスの影響もあり、6年生にとって宿泊を伴う研修は今回が初めてでした。

キザニア、東大寺、清水寺、二条城、金閣寺、太秦映画村…。6年生のみんなにとっては、心に残る思い出がたくさんできました。

